

一 教学入門 ⑥ 難を乗り越える信心

※難を乗り越える信心について、空欄に適切な言葉を入れて次の文章を完成させなさい。

成仏を目指す仏道修行者の途上には()三障四魔()という障害が必ず起きます。言い換えれば障魔が現れた時こそ、()成仏()への大きな前進の時です。大聖人は「凡夫の()仏()になる又かくのごとし、必ず()三障四魔()と申す障いできたれば()賢者()はよろこび()愚者()は退くこれなり」と賢者の信心であれと指導されています。また末法で法華経を弘める法華経の行者には三種類の強い迫害者が現れます。これを()三類の強敵()と呼びます。

※三障四魔について答えなさい。

三障とは信心の妨げになる三つの障り(障害)です。それぞれ何にあたるか記入しなさい。また文中の空欄に適切な言葉を埋めなさい。

- () 煩惱障 () 自身の煩惱による信心の妨げ
- () 業障 () 悪業による信心の妨げ () 妻子 () 等の身近な存在によって起る
- () 報障 () 過去世の悪業の報いとして現世に受けた悪い境遇による信心の妨げ
- () 国主 () ・ () 父母 () 等自分が従わなければならない存在によって起る

四魔とは信心修行者から生命の輝きを奪う働きをいいます。それぞれ何にあたるか記入しなさい。また文中の空欄に適切な言葉を埋めなさい。

- () 陰魔 () 五陰(心身の働き)の不調和による信心破壊
 - () 煩惱魔 () 貪り、瞋り、癡などの煩惱による信心破壊
 - () 死魔 () 信仰者の生命を断つことによる信心破壊
 - () 天子魔 () 生命の根本的な迷いによる信心破壊
- 別名を()第六天の魔王()・他化自在天王とも言う。

煩惱や妻子、父母、五陰などそのものが障魔であるというのではなく、これに引きずられる自身の生命の弱さによってこれらが障魔の働きとなってしまふという点が重要です。

※三類の強敵についてそれぞれ何にあたるか記入しなさい。また文中の空欄に適切な言葉を埋めなさい。

- () 俗衆 () 増上慢 法華経の行者を迫害する、仏法に無知な衆生 悪口罵りして危害を加えることもある
- () 道門 () 増上慢 法華経の行者を迫害する僧侶(比丘)
- () 僭聖 () 増上慢 仏法を極めていないのに誤った自分の考えに固執して迫害する 法華経の行者を迫害する高僧 聖者のように仰がれているが()権力者()を動かして迫害する 大聖人御在世の時に代表格が()極楽寺良観()であり 現代では()日顕宗()である

大聖人は三類の強敵を引き起こしたことで末法の()法華経()の行者であると証明された。